



創立 1995年 10月 18日

[参加して真に生き甲斐の持てるクラブ]

2014～15年度テーマ

～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～



明けましておめでとうございます

臨時総会・例会

日時：平成 26年 12月 11日(木) 12:30～14:30

場所：八王子エルシィ

出席者：63名 欠席者6名 出席率91.3%

(会員総数69名 休会0名)

会食とハッピーコイン披露

田中美代子例会委員長の合図で会食を始め、会食中に永井副会長より18名のハッピーコイン(p5参照)が披露された。なお、例会に先立ち臨時総会が開催された。



臨時総会

1. 開会 田中例会委員長

上記出席率の報告と資料の確認

2. 土井会長挨拶

日本人が海外で活躍されているのを聞くと、自分のことのように喜ばしい気持ちになります。又、例えばマララさんのように世界的に活動をしている人

達を見ていると、一体お前は何をしているんだと反省させられます。人間の崇高な心を見たり、接したりして行くということは、自分自身の心を反省するという意味でも素晴らしいことだと思われま。このクラブもそういう素晴らしい人々の集まりであり、そのような心を更に発展させていく機会になればと思います。本日は第19回生涯学習サロン特別会計予算の件です。宜しくご審議願います。

3. 議長選出

恒例により会長を議長に選出。書記に土井俊雄会員が、議事録署名人に廣瀬会員と岡部会員がそれぞれ指名された。

4. 議案と結果

第1号議案 第19回生涯学習サロン特別会計予算(案)承認の件；寺田地域奉仕委員長の説明(特にバス代の値上がり、消費税等の影響で一部サロンの会費の値上げが止むを得ない旨)があり、原案の通り可決承認された。(別途議事録あり)

第230回例会

1. 挨拶

土井会長

後程会員委員長から紹介があると思いますが、退会者が出るという淋しいニュースと、新しく会員が



加わるという嬉しいことがあります。是非今後も60才代の会員の加入を勧めて頂きたいと思ひます。

いよいよ今年度の「学習サロン」に突入していく時期になり、又来年の「20周年記念行事」の準備に入っています。皆様のご協力をお願いします。

2. 新入会員の紹介

135 山崎光子新会員

紹介者：根本照代会員委員会副委員長

山崎さんは群馬県のお生まれ、27年間教職、10年ほど前八王子に転居、介護施設でのオカリナの演奏が最初の出会い。

持って来られた老人向けの本を通じて知り合いになりました。外国の施設等も訪問



されており、10年以上に亘って、NPO組織に属して子供達の教育に携わり、高齢者施設へのボランティア活動も行っておられます。パソコンが得意。インターネットを通じて予めプロバスクラブのことも習知。60歳になったばかり！大いなる活躍を期待。

・山崎光子新会員の自己紹介

初めまして、山崎光子です。

10年前に群馬県から八王子市に転居しました。大学を卒業してから教育の道に進み、小中学生そして国立大学教育学部学生や大学院生の指導と幅広い年齢層の生徒達と接してきました。



長年の経験を生かして、現在は自宅でつばめ塾という無料の塾で英語・数学を教えております。一見豊かそうに見える日本ですが、子供の貧困率は16%（内閣府統計）。何と6人に1人が大学進学のコストどころか、今日明日の生活費や学費、さらには食べ物を買うお金にも困り、空腹で眠れないなど、たくさんの子供達が困窮状態にあることを知りました。このような貧困の状態にある子供達が少しでも夢と希望を抱くことができたらと考え、NPO法人八王子つばめ塾（無料塾）第四教室を開くに至りました。普段は静かな我が家のリビングですが、塾のある日は夜遅くまで生徒やご家族が出入りし、時には高校で生物と化学を教えている夫も加わってくれるので、アットホームで温もりのある充実した「塾ライフ」を楽しんでおります。

塾のボランティアとは別に「多摩にじの会」という50名程のボランティアグループの事務局を担当し、会員の皆様と病院や施設を訪問したり、桐田中学校学習支援ボランティアとして数学を教えたりとささやかな「ボランティアライフ」を楽しんでおり

ます。

特技は、カセットテープの音楽や音声、昔の写真などをデジタル化してCDやDVDを作ること。撮影した写真の画像を鮮明にし、不要な電信柱や顔のシワなどをなかったことにする（笑）など、画像の加工をすること。会議中に文字打ちをして会議終了時、すぐに印刷して皆様に配布できるようにすることなどです。お役に立てることがありましたら、いつでもお声がけ下さい。

根本様のご紹介により、プロバスクラブに入会ができましたことをとても嬉しく思うと共に心より光栄と感じております。会員の皆様から一つ一つ学ばせていただき、黒子として裏方として一生懸命取り組んでいきたいと思っております。ご指導の程、どうぞ宜しくお願い致します。

3. バースデーカード贈呈

今月は11月生まれと12月生まれの会員に、土井会長から、池田会員手作りのバースデーカードが贈られた。



11月生まれの方々：写真左から（土井会長）東山、渋谷、杉山、田中美代子、増田、山崎の各会員。



12月生まれの方々；写真左から（土井会長）飯田、宮城の各会員

4. 卓話

「現在の幼児教育のおかれている環境について」

鈴木はるみ

私は並木町にあります聖フランシスコ公認セント・ベル幼稚園インターナショナルの副園長をして

おります。当幼稚園は現在約 200 名で、昭和 49 年に開園し、愛のある子ども、視野のある子ども、自信のある子どもを育てようという方針のもと、40 年間幼児教育の一端を担って参りました。



1) 映像による今どきの幼稚園の一年間の様子

先ずは幼稚園の一年を映像で覗いて頂き、子ども達の笑顔から元気を受け取って頂きましょう。



入園式、遠足、聖母祭、屋上、空手、ヒップホップ、プール、七夕、夏祭り、お泊まり保育、消防訓練、消防

署見学、運動会、七五三ミサ、プール（温水）、いちご祭り参加、クリスマス会、プチ・コンセール、お店屋さんごっこ、卒園製作、卒業式。

以上のように、幼稚園は毎日子ども達と共に育って行くという思いで、楽しみと同時に成長を見届けることができます。ご家族やお孫さんとお話する際のきっかけになれば幸いです。

2) 子ども・子育て支援新制度

幼保一元化により幼稚園・認定こども園・保育所・地域型保育と多種多様な子育て事業が始まります。

幼稚園：小学校以降の教育の基盤をつくるための幼児期教育（3～5 歳）2 時ごろまでは時間延長も可。

認定こども園：教育と保育を一体的に行う施設（3～5 歳）。幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ。

保育所：就労等の為、家庭で保育できない保護者に代わって保育する施設。0～5 歳（従来と変更なし）

地域型保育：0～2 歳の待機児童を対象。

家庭的保育（保育ママ）・・・定員 5 人以下

小規模保育・・・定員 6～19 人対象

事業所内保育・・・会社の事業所の保育施設で従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育

居宅訪問型保育・・・保護者の自宅で 1 対 1 保育

以上のように、従来の幼稚園・保育所に対し子育て支援の輪が広がりました。（質疑 2 件は省略）

4. 幹事報告

武田幹事

特になし

5. 委員会報告

(1) 例会委員会 田中委員長

出席会員数の報告（前記のとおり）

(2) 情報委員会 河合委員長

皆様のお手元にプロバスだより 229 号をお届けしました。会員の皆さんの紙面登場も多くなり、野外研修等の活動も詳しく報告されています。投稿原稿の在庫がなくなりましたので、会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。是非 1,000 字以内で。

(3) 会員委員会 岡本委員長

入退会者のお知らせ；退会者 2 名（中野義光氏、市川昌平氏）入会者 1 名（山崎光子会員）

名簿への追加用紙をお配りしていますので、貼りつけて下さい。

(4) 研修委員会 石田委員長

野外研修は 32 名の参加者を得て無事終了しました。ただし、参加率は 46%と極めて低



い値でした。研修の反省と今後の課題を簡単に述べます。

最近 10 年間の野外研修の参加率は、昨年は 56%、一昨年は 50%、三年前は 75%、その前の 6 年間の平均参加率は 72%です。本年の会員の平均年齢は 77 歳、毎年 1 歳ずつ平均年齢は高くなっていますから、3 年前は 75 歳です。つまり、参加率は後期高齢期になると急に減少しています。今回の研修ではキャンセルのなど不参加の理由に、体調不良、体力に自信がないとする人が少なからずいました。すなわち、高齢化による体力低下が本年の低い参加率の原因の一つと考えられます。また、これまでの野外研修・野外サロンの場所は約 40 箇所であり、魅力ある場所の選定は年々困難になっています。すなわち、今年の参加率の低い主因は高齢化による体力低下、研修場所の魅力のなさにあると考えています。

ところで、平均年齢が毎年 1 歳ずつ増加すると、3 年後には 80 歳になります。野外研修・サロンの主目的は学ぶことにあるようですが、我々は「見るべ

きものは見た」「学ぶべきものは学んだ」年齢にあると思います。楽しむ・懇親に軸足を少しずつ移すことにより、場所選定の範囲を広げることができ、また、体力の低下に対しては余裕のある行程を組むことを求められます。

最後に、会員の高齢化は本会の組織運営・事業への影響が大きく、その対応は今後の大きな課題になると思います。以上、来年度以降の野外研修の立案に参考にして頂ければと思います。

(5) 地域奉仕委員会 寺田委員長

学習サロンの進行状況報告とお願いです。

①市に対する後援名義使用申請や広報他への掲載依頼は完了

②会員の全員参加と各種役割分担への協力依頼

③生涯学習サロンへのお誘い等案内資料配布

いよいよ来年 2 月 26 日から 5 月 1 4 日までの予定で学習サロンが始まる。

- ・聴講希望テーマ調査依頼書提出依頼
- ・一般サロン会員勧誘のお願い（高齢化対策）

6. 八王子「宇宙の学校」プロジェクト

下山リーダー

11 月は 9 日、15 日、30 日に各会場で予定通り実施し、これで本年度の活動を無事終了しました。今年の参加者数は延べ 662 組、1,330 人になりました。プロバスクラブからのボランティア参加、見学者も 3 会場で延べ 152 人となりご協力に感謝します。例年通り「レポート」の発行を予定しています。

7. 交流担当

浅川理事

過日横浜で開催された全日本プロバス協議会総会への多数のご参加、感謝しています。

立川全日本プロバス協議会副会長

全国から 240 人の参加を得、当クラブからも 21 人が参加して下さり、私は議長を務めました。新しく横濱プロバスクラブの中村實氏が会長に就任し、私は東日本担当の副会長に戻りました。ご協力に感謝すると共に、来年は東日本の交流会が予定されていることでもあり、引き続き宜しく願います。

8. 創立 20 周年記念事業報告

吉田事務局長

去る 12 月 2 日に第 4 回準備委員会が開かれ、着々と準備は進んでいます。全体の概略予算と準備日程が決まりました。

・記念誌編集チームからのお願い（佐々木正会員）



八木会員と共に 20 周年記念誌の編集・発行を担当することになりました。ホームページも充実してきたの

で、これへのリンクも考えています。「宇宙の学校」等この 5 年間のクラブとしての活動を記録に留めると共に会員情報を纏めたいと思っていますので、会員の皆様には全員に原稿記入依頼を本日配布しました。（できればメールで）3 月末までに記入提出をお願いします。

文集も作りたと思っていますので、この件については改めて依頼します。

9. 同好会報告

麻雀同好会（荻島会員）

現在会員は 10 名いますが、2 卓の成立が難しく、経験のある方々の積極的参加をお待ちしています。終了後は懇親会もあります。

10. その他

いちょう祭りの報告とお礼（佐々木研吾会員）

大変な盛況で感謝しています。35 回を迎えたが、次世代に引き継ぐイベントとして益々盛りたてて頂きたい。当日の会場の様子などは、「プロバスだより第 229 号」の山口副幹事の報告によく纏められています。会員の皆様にはいつもご支援を頂いて感謝していますが、特に一点だけ、車いすの身障者用のトイレについて、非常に適切な対処をして頂き、感謝されたことを申し上げて、お礼にかえます。有難うございました。

又、本日卓話を頂いた鈴木はるみ会員には大変お世話になっていて、セント・ベル幼稚園の鼓笛隊はこの祭りの呼び物の一つになっている他、ご一家を挙げていちょう祭りに貢献して貰っている事をご紹介しておきます。

11. プロバス賛歌斉唱

12. 閉会

永井副会長



今年のノーベル平和賞は子供の教育の大切さが、強く認識された結果でしたが、今日の卓話も子供の育成の

大切さに思いを至らせるものでした。今、日本社会の少子化が大きな問題となっています。産まないのが悪いのではなく、子供が育ちにくい社会状況こそが問題であろうと再認識させられます。

本例会を持って今年の例会も終了となりますが、皆様どうぞ健康で良いお年を！

報告

八王子「宇宙の学校」報告

情報担当 有泉裕子

11月に入り宇宙の学校もいよいよ最終回になり、各会場ともスクーリングと家庭学習成果発表、閉校式が行われました。

9日の工科大学会場は72組、15日の北高校会場では15組の参加があり、共に①ペーパースチロールで凧を作ろうと②スポイトロケットを作って打ち上げようの2つをおこないました。

30日には本部会場に56組の親子が参加、最後のスクーリングのホバークラフトを作ろうに挑戦しました。そして体育館での走行テストが、KU-MA 山下法昭先生の合図で行われ、広い会場は歓声に沸きました。

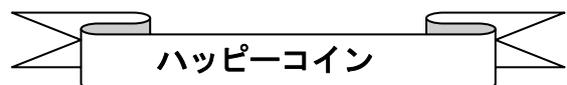


その後、各班に別れての家庭学習成果発表では、子ども達は緊張して発表していましたが、きっと良い経験になった事でしょう。



閉校式では坂倉仁教育長から親子共々に学んだ成果を讃えて、当日最初に受付をした子どもに代表として修了証書が手渡されました。班ごとにスタッフから手渡された子ども達も嬉しそうにしていました。

各会場とも4回のスクーリングで一緒したスタッフ、親子共々に別れを惜しんでいました。



◆第6回全日本プロバス協議会横浜大会が無事終了しました。大勢の皆様の応援有難うございました。

立川 富美代

◆全国のプロバス会員との交流有難うございました。プロバスクラブを全国に広げるよう頑張りましょう。

浅川 文夫

◆「宇宙の学校」今年の教室が無事終了しました。有難うございました。

高取 和郎

◆今年度八王子「宇宙の学校」無事終了おめでとうございます。スタッフの皆さんお疲れさまでした。

有泉 裕子

◆「宇宙の学校」26年度のスクーリング全12回無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

下山 邦夫

◆囲碁同好会一泊して「囲碁と温泉とお酒」を楽しみ、賞品を頂きました。

橋本 鋼二

◆11月15～16日の第35回いちょう祭りでは、会員の皆様から多大のご支援、ご協力を頂き、有難うございました。幸い快晴に恵まれ、両日で過去最高

の延べ 50 万人を超える人出となりました。

佐々木 研吾

◆10 日ばかり前、何とか二人とも元気で結婚 50 年の節目を迎えることができました。50 年もの間、よくあきずに過ごせたものだと思したところ「それはこっちも同じ」とのこだまが返ってきました。

佐々木 正

◆私の誕生日は 11 月 23 日。戦前、戦後を通して国民の祝日（戦前は新嘗祭、戦後は勤労感謝の日）。全国で祝ってくれます。ハッピーハッピー

東山 榮

◆中央大学松野良一ゼミと八王子市と協力して「八王子空襲」という DVD ができました。制作に参加して、証言したりしました。

廣瀬 智子

◆秋のコンサートが無事終わりました。①八王子合唱の集い②「木の実演奏会」③南大沢コーラスフェスティバル ご声援ありがとうございました。

武田 洋一郎

◆今年の報知映画賞に輝いた「0.5 ミリ」鑑賞、介護を扱った秀作でした。

野口 浩平

◆お茶の国際交流でベトナムに行ってきました。日本の文化を海を超え伝えられたこと、とても喜んでくれたこと、嬉しく思いました。

阿部 治子

◆3 名の日本人ノーベル物理学賞の受賞おめでとうございます。

山口 三郎

◆改めて日本人 3 人のノーベル賞を祝して、また平和賞受賞者の偉大な心に感動して。

土井 俊玄

◆会員委員長の岡本です。今般新会員山崎光子様が入会となり誠におめでとうございます。

会員の皆様山崎光子様を末永くご指導ご鞭撻下さいますようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

岡本 宝蔵

◆山崎光子さんを新会員としてお迎えすることができました。今までもいろいろな奉仕活動をされて来られましたが、プロバスクラブで大いに活躍して下さると思います。どうぞ宜しくお願ひします。もっともっとハッピーなクラブなることでしょう。

根本 照代

◆今年も大変お世話になり有難うございました。楽しかったです。来年もどうぞ宜しくお願ひしますネ。

阿部 幸子

俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～12 月の句会から

年の瀬に心忙しくこの稿をまとめている。句会はもちろん、このまとめも大変楽しい作業である。喜び、悲しみ、そして人生の機微を詠んだ句にしばし感動を味わう。どうぞ作品をご鑑賞ください。

腕まくりしてみただけの冬の朝 渋谷 文雄

高点句。俳諧味あふれる一句。男性 3 人、女性 2 人が選。遊び心満点の傑作。

十二月八日この静安を絶やすまじ 山形 忠顯

戦後 69 年間の平穩。戦争反対を訴える一句。俳句で平和を呼びかける心意気や高し。佳句。

夕暮れの葉叢に零る柚子明り 石田 文彦

うまい句が生まれた。雰囲気も形もいい。「柚子明り」の表現が秀逸。佳句。

すべきことおおかた諦め十二月 池田ときえ

高点句。作者は女性。今回のユーモア賞もの。誰しもが体験する越年の心理的儀式。

風花や前行く女の肩に消え 立川富美代

今回の最高点句。皆さんはこういう句に惹かれるようだ。何となくの雰囲気がいいらしい。

震災前生まれし川に鮭帰る 田中 信昭

大震災で荒れた川にも鮭が帰り始めた。よくぞ忘れずに。命の輪よ永遠に続けと祈るのみ。

時雨るるやかすむ山並甲斐の国 飯田富美子

大景を詠う。早や冬の訪れ。ふる里の山々は時雨にかすんで見える。ふる里はよきもの。

黄落や物干しエリア広まりて 東山 榮

日常の家事を知らないところした発見はできない。ユーモアたっぷりの一句。作は男性。

高々と冬の虹立つ鳩の湖 馬場 征彦

冬空に立つ虹と湖面に遊ぶ鳩の群。立体的な景をうまく切り取った。形の整った一句。

絵皿焼く炎納めて年暮る 河合 和郎

今年最後の窯焼き。火を落として取り出しを待つのみ。期待と緊張の年の暮れ。

編集後記：新しい年が始まりました。今年は我がクラブの 20 周年に当たり、その記念行事への準備が着々と進んでいます。みんなで盛り上げましょう。 編集担当；田中 信昭